

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
「実習」	機械工作・機械設計（実教出版）	1単位（4単位中）	電子機械科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 工業教育の質の確保・向上の観点から、生徒の基礎学力の習得と学習意欲の向上を図るとともに、客観的でより広い視野から生徒の基礎学力の定着を目指す。</p> <p>2 機械に関する基礎的な知識と技術を習得し、機械、器具などを創造的、合理的に設計・使用するためにの能力と態度を身につける。</p>
---------	---

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学期	第2章 機械材料	4	<ul style="list-style-type: none"> 機械材料の種類、性質、用途などを理解し、機械材料を適切に活用できる能力を身に付ける。 いろいろな加工法との対比のなかで、鋳造の特徴を理解させ、鋳造を適切に活用できる能力を身に付ける。 	期末
	第3章 鋳造	5		
		6		
		7		
2 学期	第4章 溶接と接合	8	<ul style="list-style-type: none"> 溶接を理解し、溶接を適切に活用できる能力を身に付ける。 塑性加工の特徴を理解し、塑性加工を適切に活用できる能力を身に付ける。 切削加工の特徴を理解させ、切削加工を適切に活用できる能力を身に付けさせる。 	期末
	第5章 塑性加工	9		
	第6章 切削加工	10		
		11		
3 学期	第2章 機械に働く力と仕事	1	<ul style="list-style-type: none"> 力や運動・仕事や動力を扱う意義について学ぶ。 材料の機械的性質を学ぶ。 	学年末
	第3章 材料の強さと使いかた	2		
		3		

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	機械に関する事象について、論理的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や結果をおよび考えかたを的確に表現できる。	機械に関する事象について、論理的に探求する方法、その過程や結果および考えかたを身につけている。	機械に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解し、身につけている。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業中に実施する小テストや家庭学習課題等で総合的に評価する。	授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習等の記述内容や発表内容及びレポートや班別活動、プレゼン内容等で総合的に評価する。	振り返りシートの内容や自己評価及び相互評価等で総合的に評価する。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

授業に必要な教科書類の忘れ物をしないことと、宿題や課題の提出期日をきちんと守ることが大切です。また毎時間、板書事項をノートへ丁寧に整理し、授業中に示される重要なポイントについては色を使った文字で書くなど、ノートへの記入を工夫することで、復習や試験に役立ちます。
--